

木村 康代¹⁾, 笹岡 恵梨¹⁾, 久米村 秀明¹⁾, 宮本 登¹⁾, 三神 彩子¹⁾

1) 東京ガス株式会社

1. 研究概要

生活者の世代特徴には、生まれ育った時代の社会情勢や経済状況、教育などが影響する。現在の30代は、1980年代前半～1990年代前半生まれである。バブル崩壊後の経済低迷期に育ち、幼少期より携帯電話やインターネットに触れ、学校教育では家庭科が男女共修化された当初に小学生以下であった年代に当たる。また、現在ファミリー形成期でありエネルギー使用の拡大が予想される層であるが、過去調査より環境意識が低いことがわかってきている。

脱炭素社会に向け、この層への働きかけが重要であることから、本調査では30代の世代特徴を明らかにし、環境意識や行動を把握することとした。

2. 調査概要

＜オンラインインタビュー調査＞

調査時期：2022年9月
調査対象：男女各4名 合計8名

- ・一都三県在住 30～37歳 既婚男女
- ・子どもあり
- ・配偶者と同居している
- ・共働き(就労時間不問)



＜WEBアンケート調査＞

調査時期：2022年11月
調査対象：合計2400名

- ・一都三県在住 30～59歳 既婚男女
- ・配偶者と同居している
- ・男性は本人が週30時間以上就労
- ・女性は配偶者が週30時間以上就労



30代ファミリー世帯の世代特徴

1 学生時代に受けた教育

- ・男女ともに家庭科・技術科を学び、キャリア教育を受けた人も増えてきた世代である
- ・学生時代は男女平等が当たり前で、男女の役割を上世代ほど意識せずに育ってきている

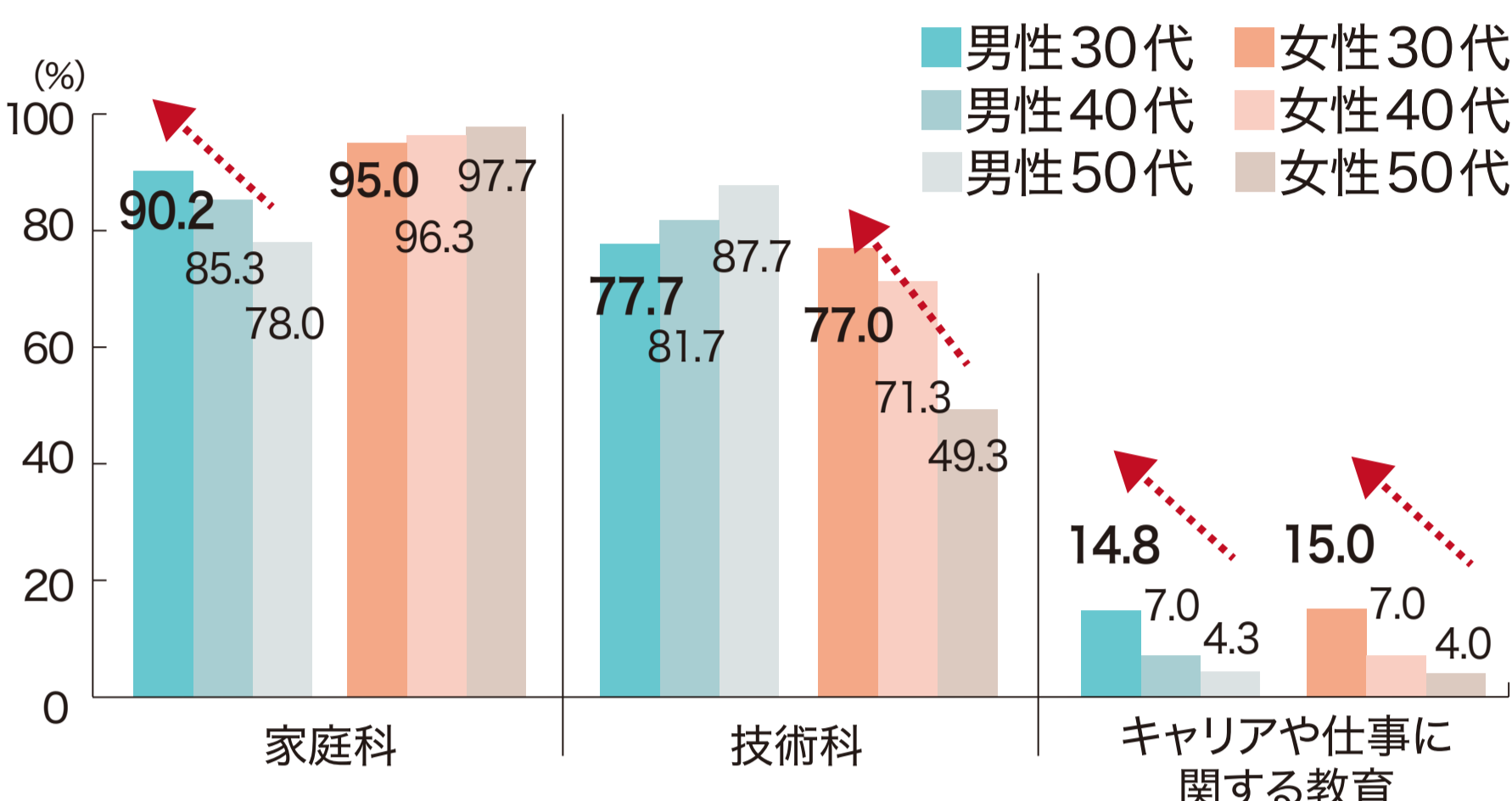


図1 学生時代に受けた教育 (受けた)
全体ベース (n=2,400)

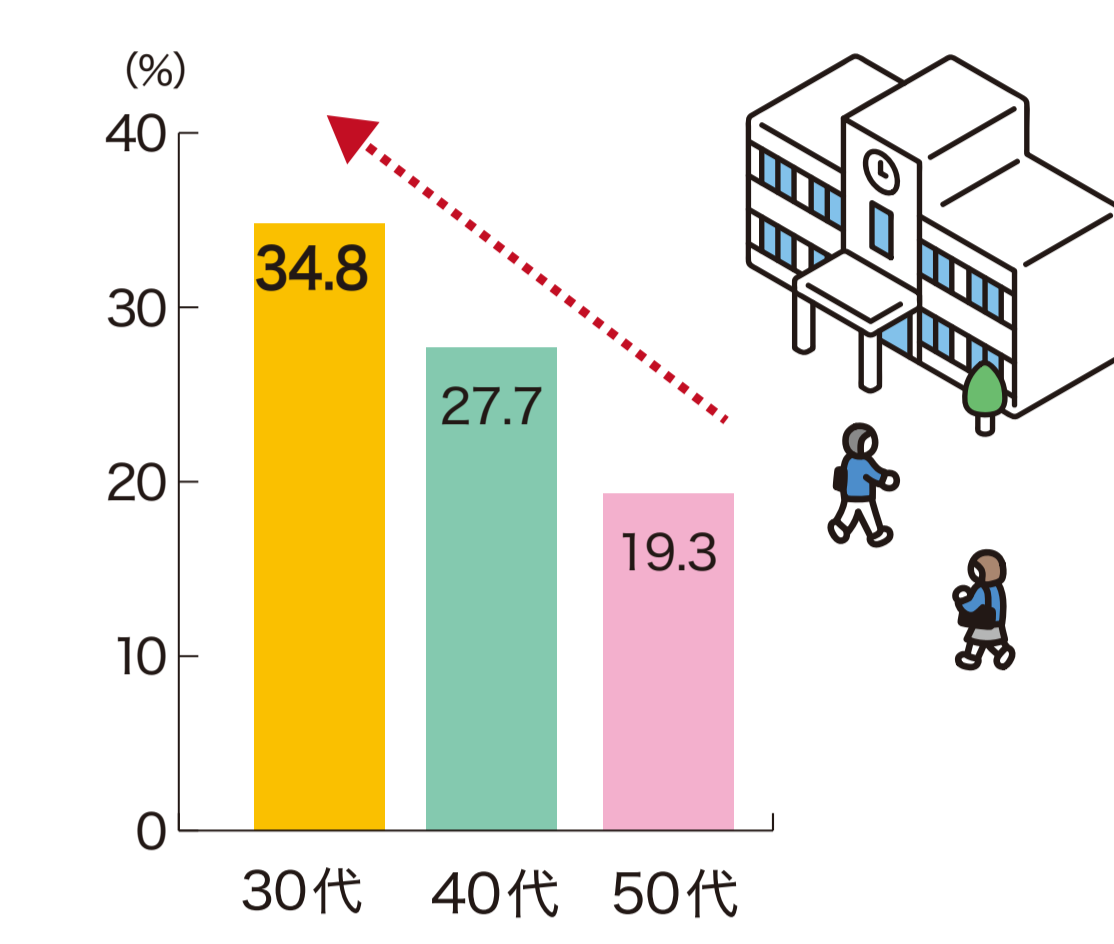


図2 学生の頃から男女対等が当たり前だった (あてはまる+ややあてはまる)
全体ベース (n=2,400)

2 家事も育児も効率を重視

- ・家事効率化への意識が高く、お金をかけてでも家族や自分の時間を増やしたい
- ・仕事は「効率化し、苦勞して覚えるものではない」と考えている

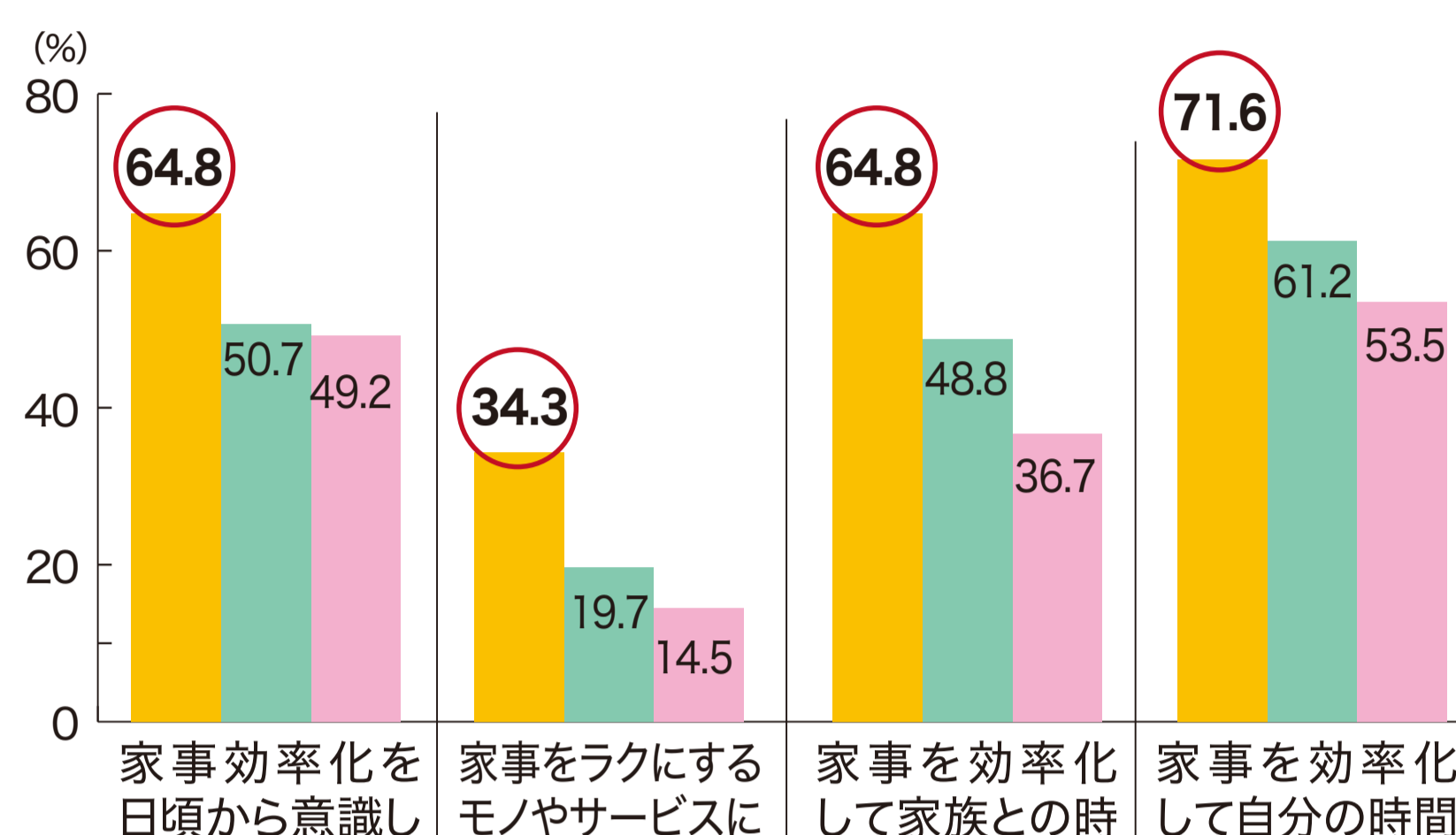


図3 家事効率化意識 (あてはまる+ややあてはまる)
全体ベース (n=2,400)

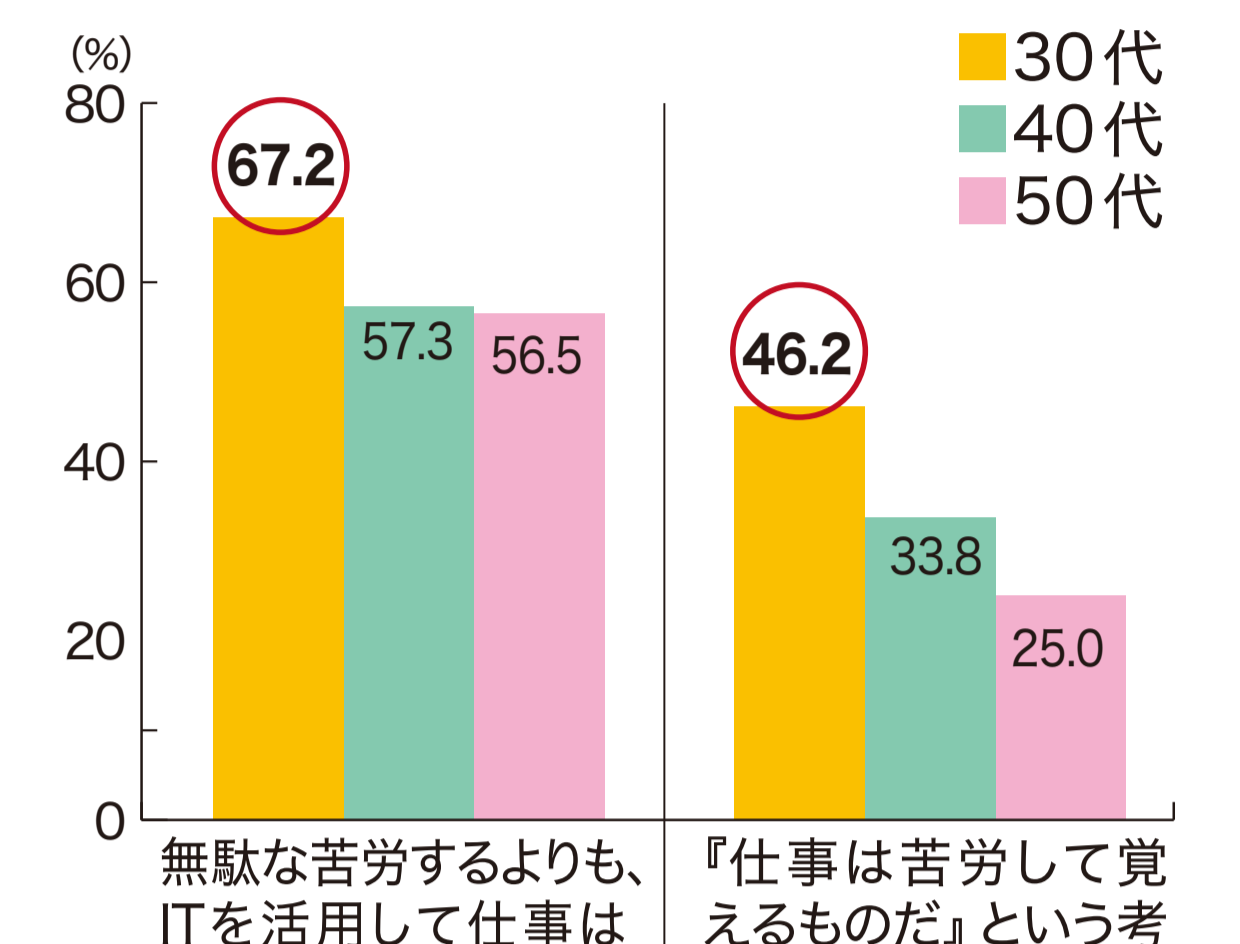


図4 仕事意識 (あてはまる+ややあてはまる)
全体ベース (n=2,400)

3 機器やサービスで効率化したい

- ・お掃除ロボット、食器洗い乾燥機、乾燥機付き自動洗濯機、自動調理鍋、食品宅配サービスなど家事効率化につながる家電・サービスの利用意向が高い

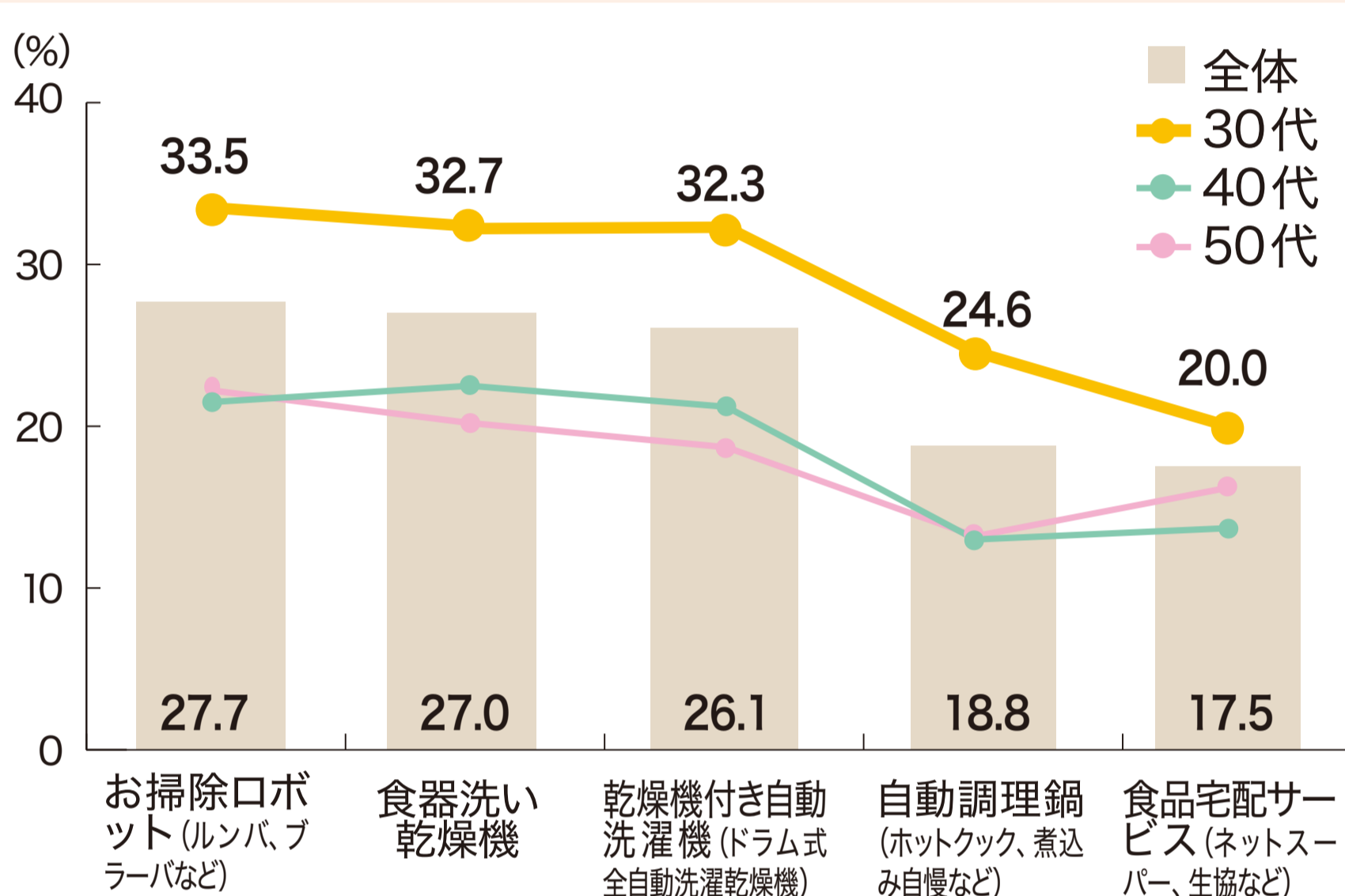


図5 今後利用したい商品やサービス (上位5項目)
全体ベース (n=2,400) ※複数回答

洗濯乾燥機を朝と夜回す。基本外干しはしない。子供が生まれてから乾燥機で、朝の干す時間を削減している。(30歳・女性)

自分の食器洗いのクオリティが低い(妻曰く)ので購入、人間の感覚に頼らない問題解決が好き。(37歳・男性)

家事の負担軽減のためにロボット掃除機や食器洗い乾燥機を活用している。(34歳・男性)

4 男女同等の家事意識

- ・家事効率化を日頃から意識する割合は、30代では男女同等
- ・30代男性の4割以上が、仕事と家事の両立に悩んでいる

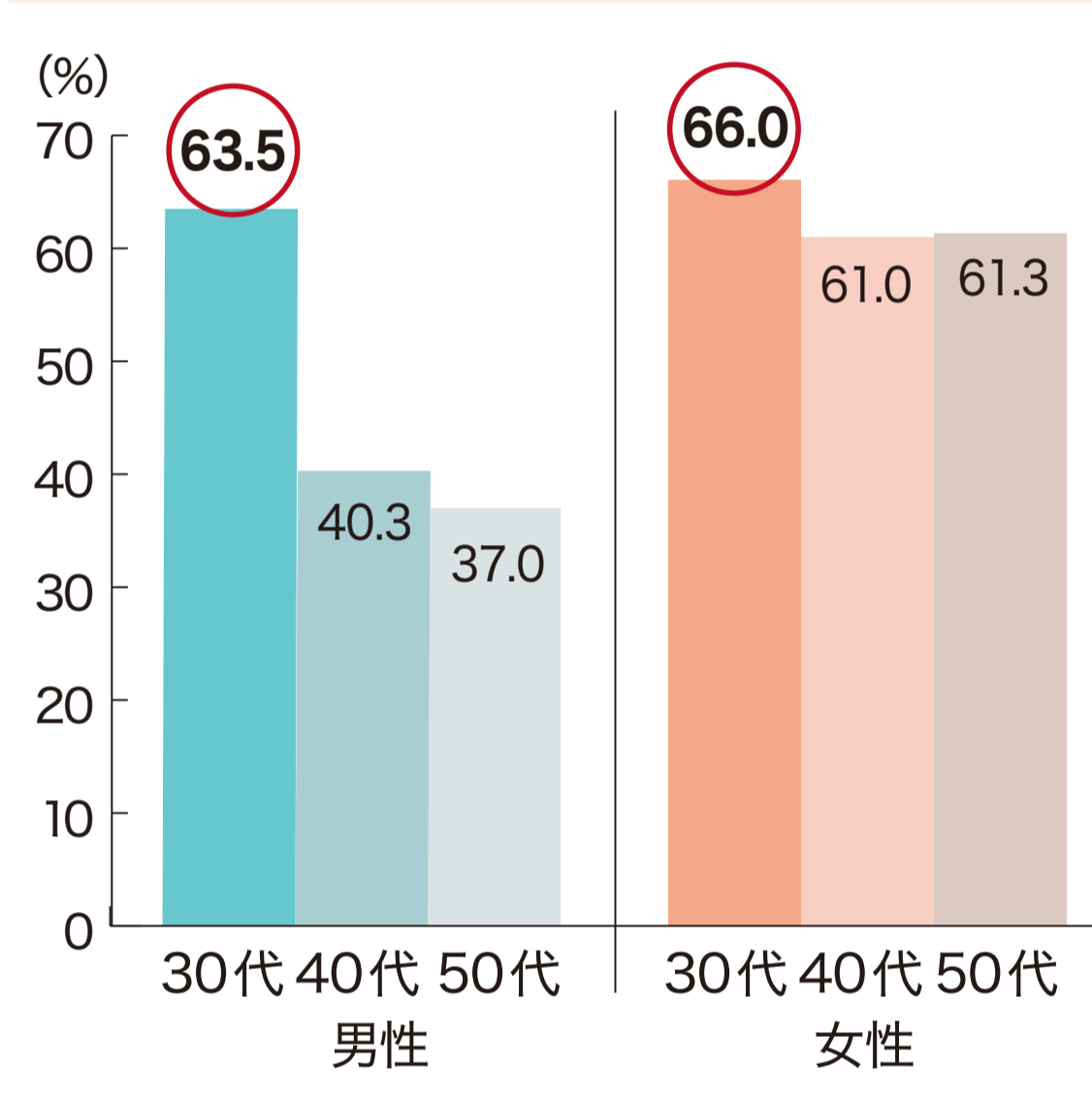


図6 家事効率化を日頃から意識している (あてはまる+ややあてはまる)
全体ベース (n=2,400)

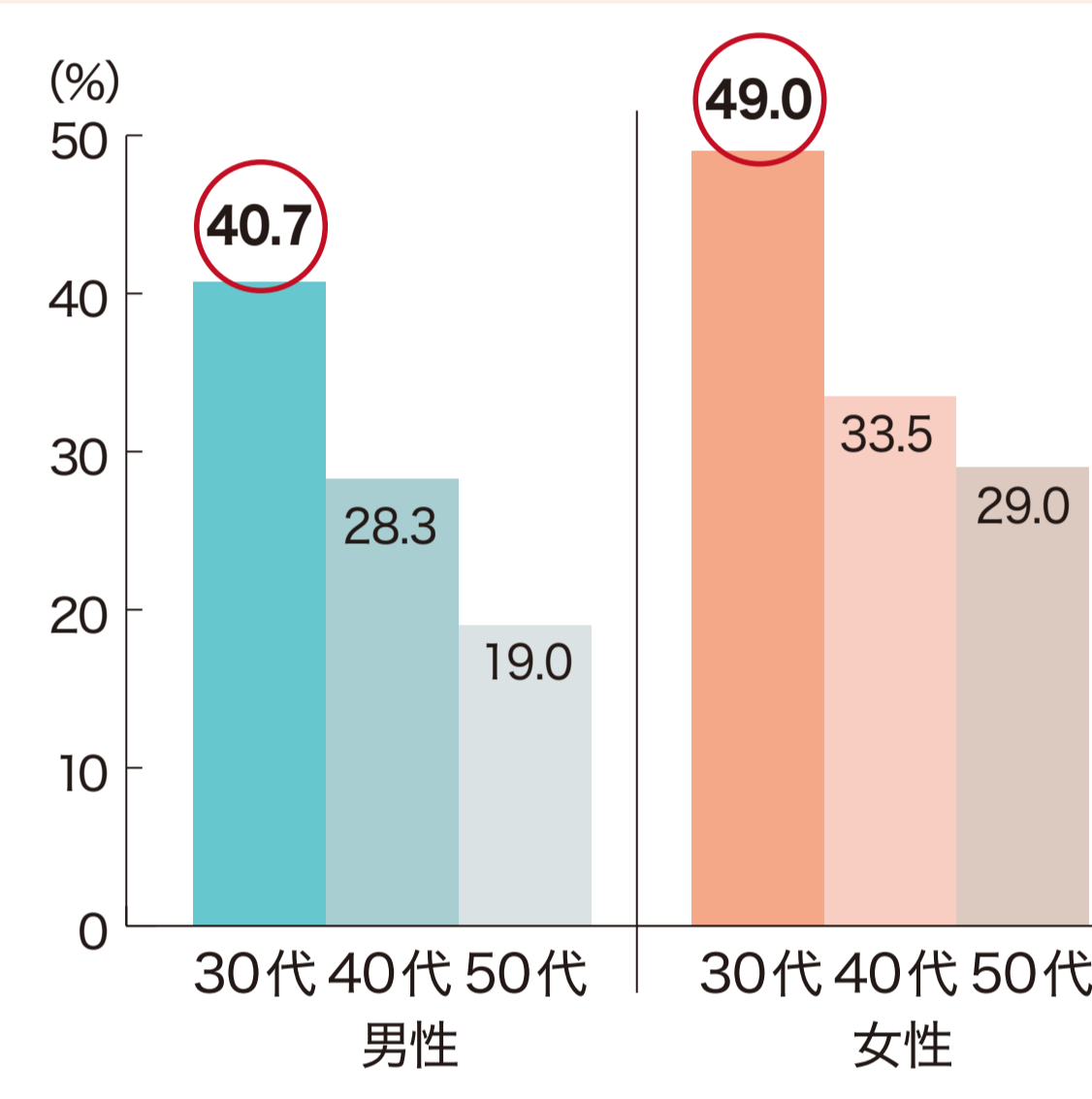


図7 仕事と家庭の両立に悩むことがある (あてはまる+ややあてはまる)
有職ベース (n=2,000)

1 上の年代より低い環境意識

- ・30代は「環境意識が低い」と思う人が約半数
- ・30代は「エコバッグを持ち歩く」などの行動を、環境を意識して行っている人が少ない

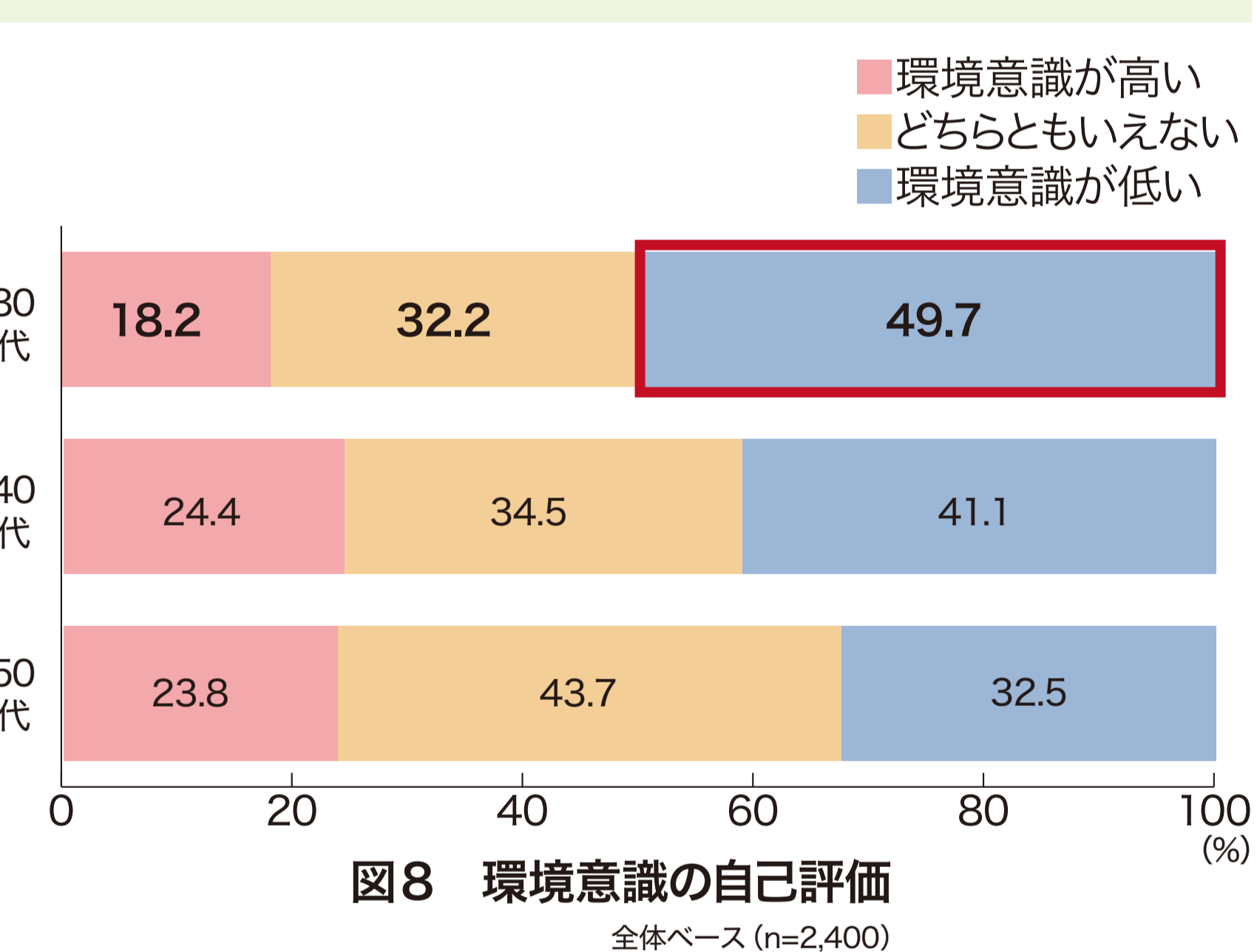


図8 環境意識の自己評価
全体ベース (n=2,400)

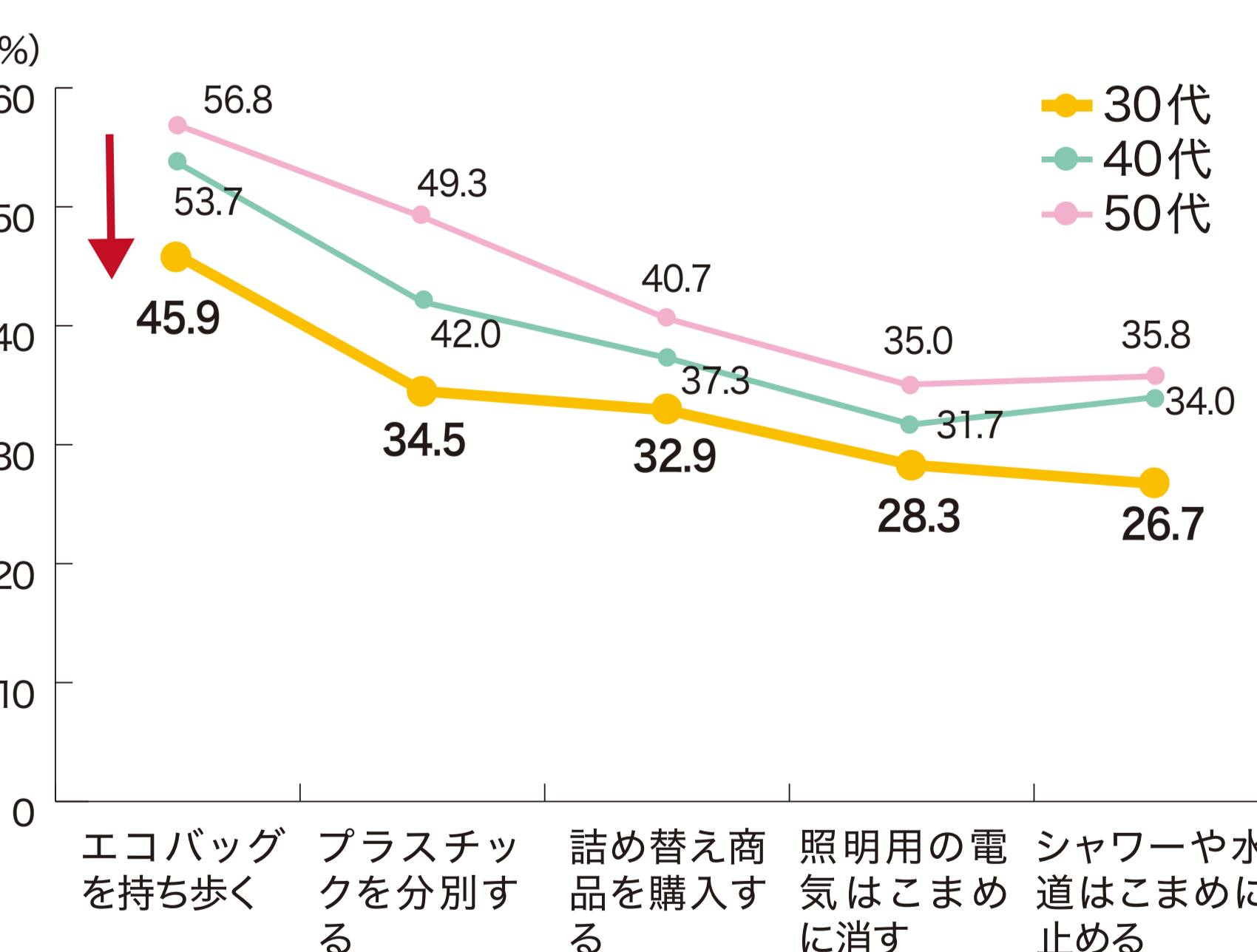


図9 環境を意識して行っていること (上位項目)
全体ベース (n=2,400) ※複数回答

2 特に男性は快適・便利優先

- ・30代男女は、環境問題は「国や企業が取り組むもの」という意識が強い
- ・30代男性は、環境行動を「押し付けられたくない」、環境によなくても「自分の快適さや便利さ」を優先したい、環境行動は「面倒」
- ・30代は男女とも、「今は家事・育児で余裕がない」という意識もある

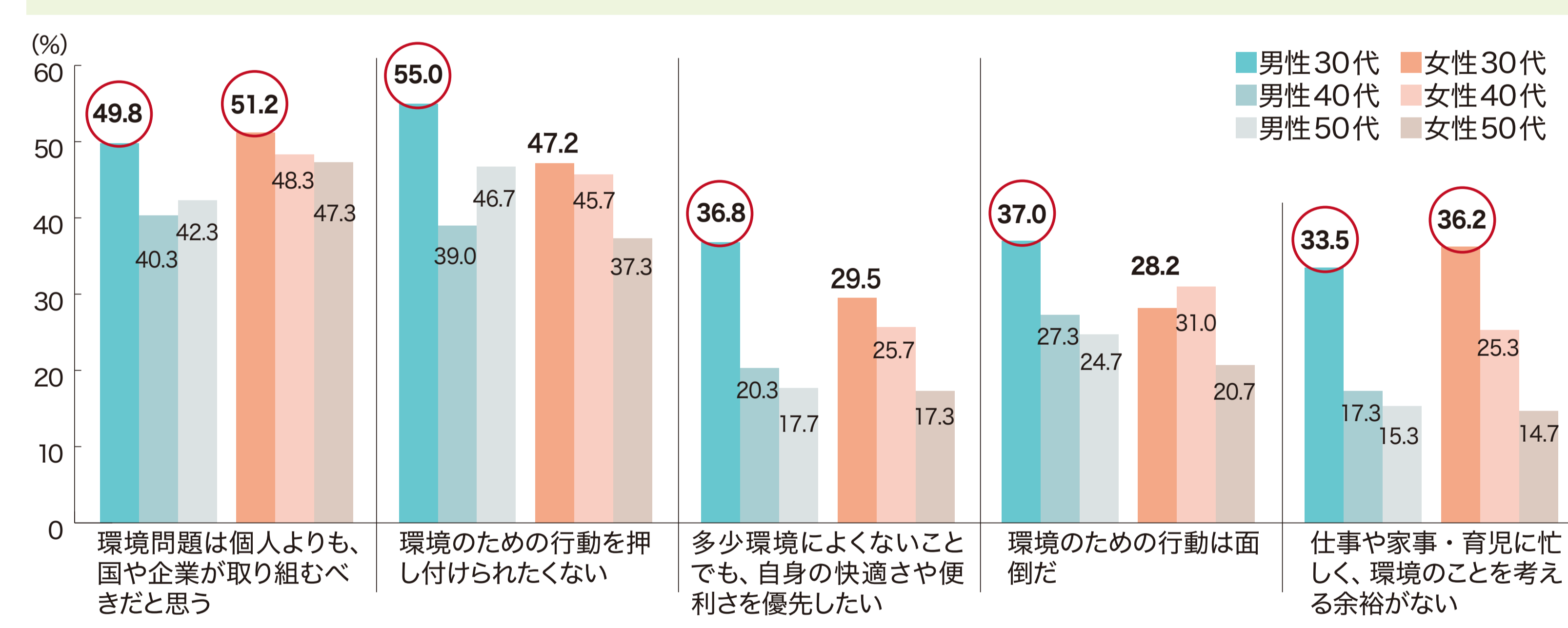


図10 環境意識 (あてはまる+ややあてはまる) 全体ベース (n=2,400)

環境のためにやりたい人は「どうぞ自由にしてください」と思うが、自分は考え方が違うので押し付けられるのは嫌。(37歳・男性)

自分のことや家族のことについていっぱい。環境とか先のことには考え巡らせる時間的な余裕がない。(30歳・女性)

3 行動理由は「損になる」

- ・上の年代より「温暖化を実感」「あたりまえのこと」が低く、「損になる、お金がかかる」「子の将来」が高い
- ・30代男性は、太陽光発電や蓄電池への関心が高め

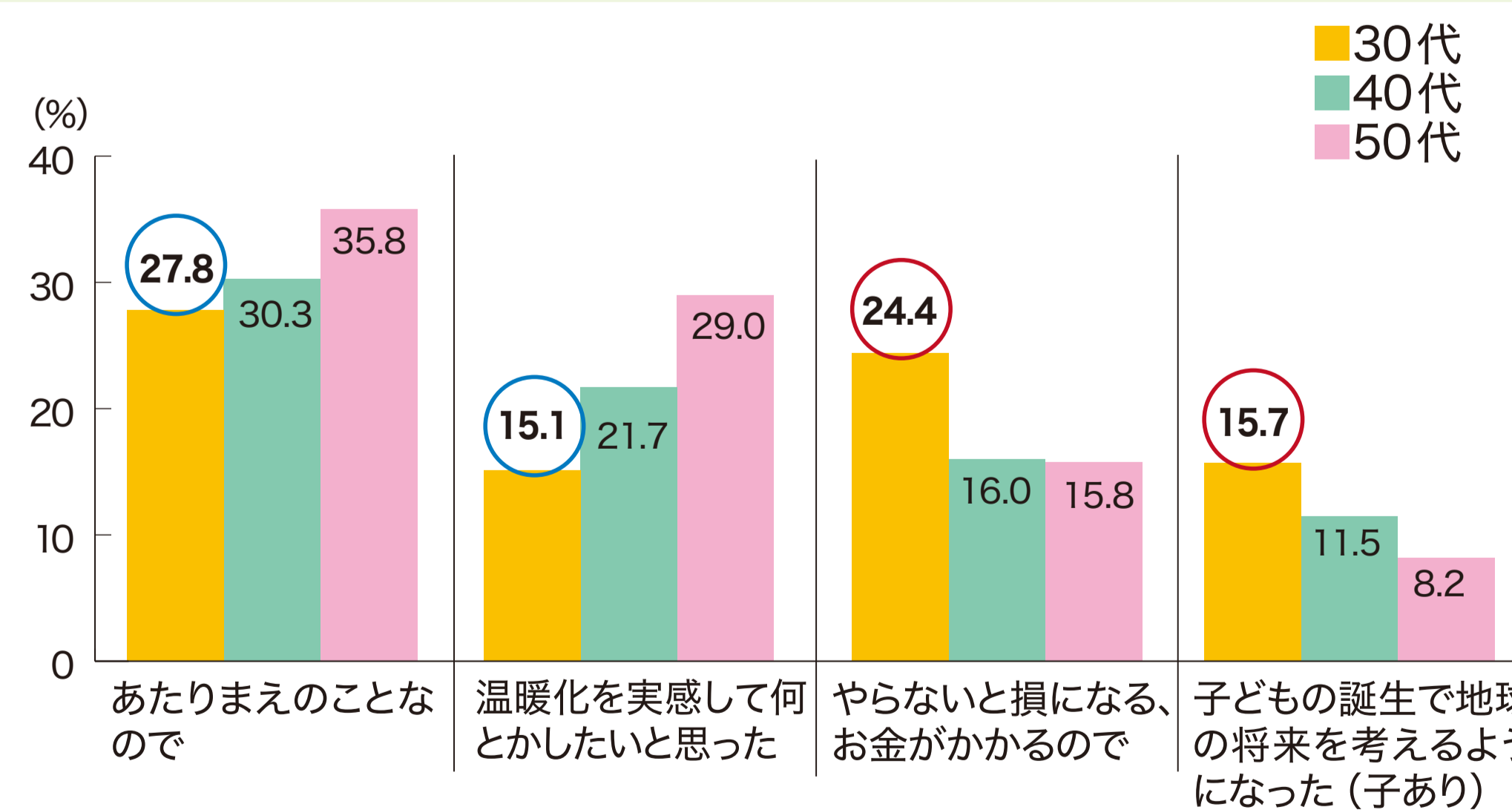


図11 環境行動の理由 (項目抜粋)
全体ベース (n=2,400) 子ありベース (n=1,590) ※複数回答

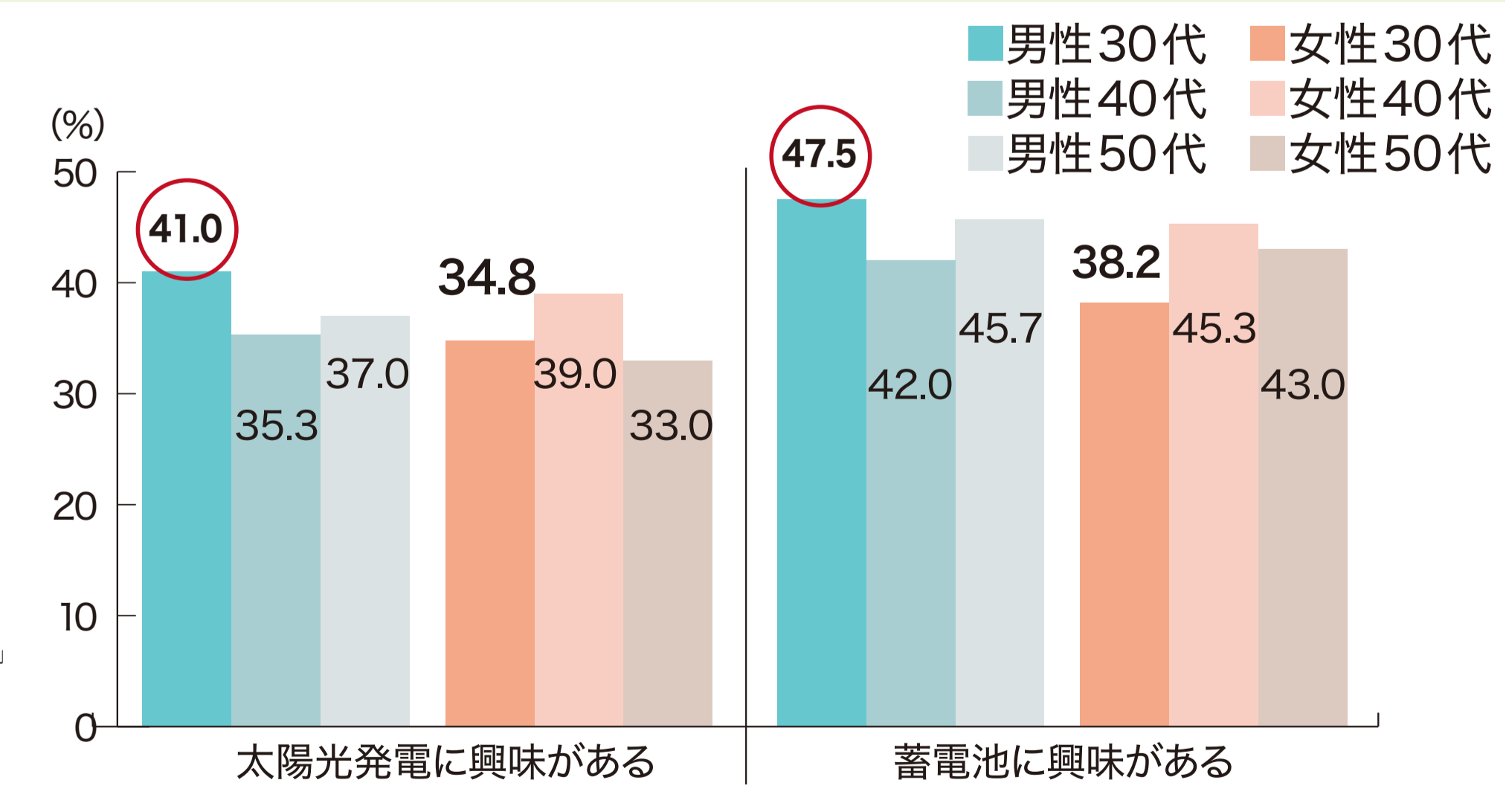
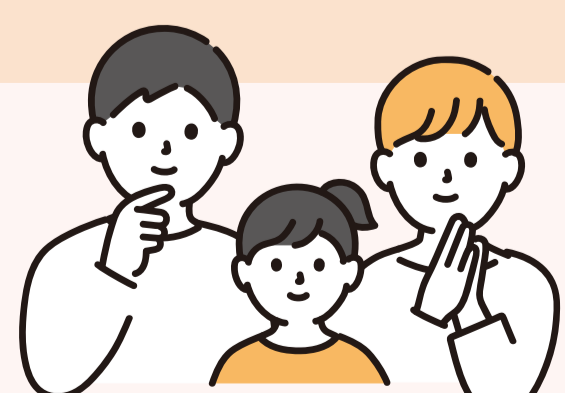
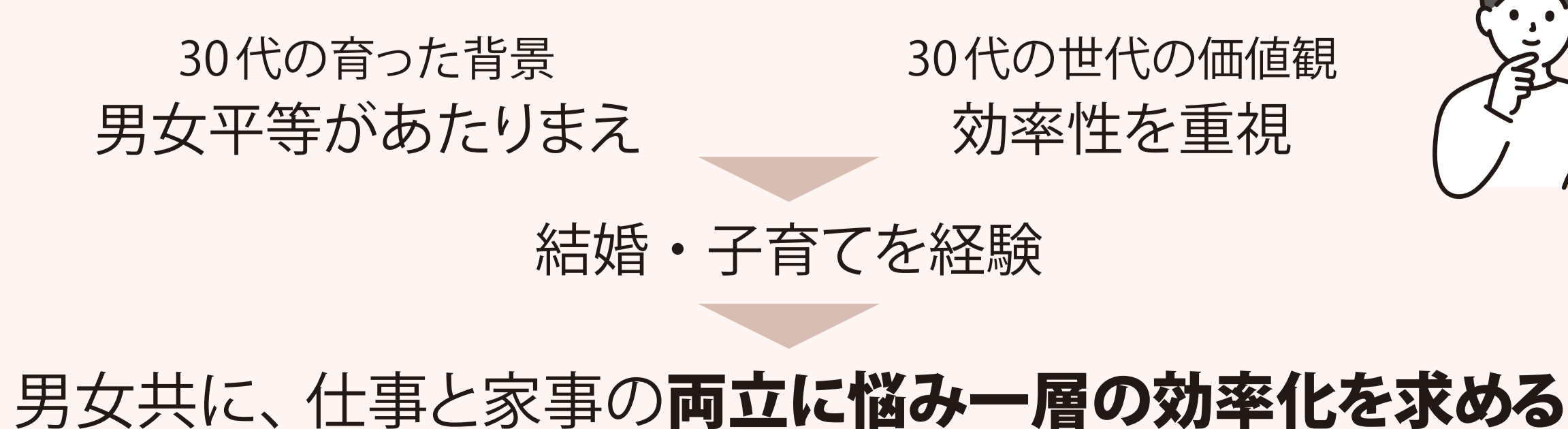


図12 環境関連製品への興味 (あてはまる+ややあてはまる) 全体ベース (n=2,400)

4. まとめ

30代ファミリー世帯の世代特徴



30代ファミリー世帯の環境意識

